

新興ウイルス感染症学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Y. Nakagawa, M. Fujii, N. Ito, M. Ojika, D. Akase, M. Aida, T. Kinoshita, Y. Sakurai, J. Yasuda, Y. Igarashi, Y. Ito : Molecular basis of N-glycan recognition by pradimicin a and its potential as a SARS-CoV-2 entry inhibitor. *Bioorg Med Chem* 1(105): 117732,2024. doi: 10.1016/j.bmc.2024.117732.
2. Ondo GN, Ushijima Y, Abe H, Mahmoudou S, Bikangui R, Nkoma AM, Mbadinga MJVM, More A, Agbanrin MD, Pemba CM, Beh Mba R, Adegnika AA, Lell B, Yasuda J: Genetic Diversity and Detection of Respiratory Viruses Excluding SARS-CoV-2 during the COVID-19 Pandemic in Gabon, 2020-2021. *Viruses* 16(5): 698,2024. doi: 10.3390/v16050698.
3. Bikangui R, Parkouda S, More A, Magossou Mbadinga MV, Boussoukou IPM, Ondo GN, Nkoma AMM, Adamou R, Honkpehedji YJ, Rossatanga EG, Ushijima Y, Abe H, Lell B, Dejon-Agobé JC, Yasuda J, Adegnika AA: Molecular surveillance for dengue serotypes among the population living in Moyen-Ogooué province, Gabon; evidence of the presence of dengue serotype 1. *Virol J* 21(1): 161,2024. doi: 10.1186/s12985-024-02406-x.
4. Sakurai Y, Okada S, Ozeki T, Yoshikawa R, Kinoshita T, Yasuda J: SARS-CoV-2 Omicron subvariants progressively adapt to human cells with altered host cell entry. *mSphere* 9(9): e0033824,2024. doi: 10.1128/msphere.00338-24.
5. Matsuda K, Niikura S, Ichihara R, Fujita K, Strasser AM, Yoshikawa R, Yasuda J, Hiramatsu Y, Hayashi H, Kodama EN, Wakimoto T: Synthesis and Cytotoxicity of Cyclic Octapeptide Surugamides with Varied N-Acyl Moieties. *Chem Pharm Bull (Tokyo)* 72(9): 826-830,2024. doi: 10.1248/cpb.c24-00533.
6. Jinno M, Nonoyama R, Sakurai Y, Yoshikawa R, Kinoshita T, Yasuda J: . *Robomech J* 11(13): 1-15,2024. doi: 10.1186/s40648-024-00281-3.

B 邦文

B-c

1. 安田二朗：バイオセーフティと病原微生物の取り扱い. 標準微生物学 : 607-612, 2024.
2. 安田二朗：日本のBSL-4施設. インフルエンザ[その他の呼吸器感染症] 25(1): 7-12, 2024.
3. 安田二朗：ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP) 「ヒト病原ウイルス」. ウイルス 74(2): 149-152, 2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	3	0	0	2	5

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
安田二朗・教授	AMED課題評価委員	AMED
安田二朗・教授	「感染症危機対応医薬品等の利用可能性確保に関する検討会」委員	厚生労働省
安田二朗・教授	内閣府受託事業「我が国が戦略的に育てるべき安全・安心の確保に係る重要技術等の検討業務」委員	内閣府
安田二朗・教授	「ワクチン開発・生産体制強化戦略に基づく研究開発等の当面の推進方針」委員	内閣府
安田二朗・教授	日本ウイルス学会誌「ウイルス」編集委員	日本ウイルス学会
安田二朗・教授	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 生物遺伝資源委員会委員	国立遺伝学研究所
安田二朗・教授	「感染症危機対応医薬品等の利用可能性確保に関する検討会」委員	厚生労働省

安田二朗・教授	科学研究費委員会専門委員（2段階書面審査審査委員）	日本学術振興会
安田二朗・教授	Member of the Viral Family Review Group (Arenaviridae)	WHO
安田二朗・教授	国際ウイルス分類委員会アレナウイルス担当委員	国際ウイルス分類委員会
安田二朗・教授	日本熱帯医学会 評議員	日本熱帯医学会
安田二朗・教授	日本獣医学会 評議員	日本獣医学会
安田二朗・教授	Viruses, Guest editor	MDPI
安田二朗・教授	PLOS One, Editorial board member	Public Library of Science

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
安田二朗・教授	日本学術振興会	代表	研究拠点形成事業－B. アジア・アフリカ学術基盤形成型－「アフリカ・アジアにおける新興ウイルス感染症研究モデル拠点の形成」
安田二朗・教授	文科省	代表	ナショナルバイオリソースプロジェクト 中核的拠点整備プログラム「ヒト病原ウイルスのリソース拠点の整備」
安田二朗・教授	文科省	代表	共通政策課題分（共同利用・共同研究支援分（課題等対応分））「連携基盤を活用した感染症制御に向けた最先端研究・次世代人材育成事業」特定共同研究「ウイルス性出血熱をはじめとする新興感染症の疫学調査と病態解
安田二朗・教授	AMED	代表	新興・再興感染症研究基盤創生事業（BSL4拠点形成研究）「国際的に脅威となる一類感染症の研究及び高度安全実験施設（BSL-4）を活用する人材の育成」
安田二朗・教授	AMED	分担	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業（SCARDA）「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点群長崎シナジーキャンパス（出島特区）」
安田二朗・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 国際共同研究強化（B）「中部アフリカに生息する野生動物のVirome解析による新興ウイルスの生態解明」代表
安田二朗・教授	AMED	代表	新興・再興感染症研究基盤創生事業（海外拠点研究領域）「ブラジルにおける新興・再興感染症制御研究の推進」研究開発代表者
安田二朗・教授	JST	分担	ムーンショット「出血熱疾患の原因ウイルスモデル作製とネットワーク解析」
安田二朗・教授	AMED	分担	新興・再興感染症研究基盤創生事業（海外拠点研究領域）「ネットワークコア拠点の設置にかかる研究開発及び支援機能」分担
安田二朗・教授	北海道大学	分担	ウイルス性出血熱をはじめとする新興感染症の疫学調査と病態解明
安田二朗・教授	AMED	分担	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「ミトコンドリア分子連鎖を介した重点感染症の治療薬開発」分担

吉川禄助・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤C「リバースジエネティクスを用いたSFTSVの抑制因子の同定と弱毒生ワクチンの開発」
吉川禄助・助教	AMED	分担	感染症治療薬の新モダリティ天然物2.0
木下貴明・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 「アレナウイルス糖タンパク質の糖鎖修飾パターンの解析」
木下貴明・助教	日本学術振興会	分担	糖鎖を標的とした変異対応型抗ウイルス薬リードの開発
安田二朗・教授	KMバイオロジクス株式会社		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に対するワクチン候補の開発

特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
安田二朗・教授 吉川禄助・助教	SFTSV核酸脂質粒子ワクチン	2024年4月26日	出願中	-

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
安田二朗・教授	長崎大学がブラジルに感染症研究拠点 中南米特有の病原体解明へ」ブラジル研究拠点設置について	KTNニュース	2024年1月18日	「長崎大学がブラジルに感染症研究拠点 中南米特有の病原体解明へ」ブラジル研究拠点設置について
安田二朗・教授	「「日本の感染症研究にも大きく貢献」新興感染症研究拠点をブラジルに設置 長崎大学」ブラジル研究拠点設置について	NCCニュース	2024年1月18日	「「日本の感染症研究にも大きく貢献」新興感染症研究拠点をブラジルに設置 長崎大学」ブラジル研究拠点設置について
安田二朗・教授	「長崎大学がブラジルに感染症の研究拠点を開設」ブラジル研究拠点設置について	NHKニュース	2024年1月18日	「長崎大学がブラジルに感染症の研究拠点を開設」ブラジル研究拠点設置について
安田二朗・教授	「長崎大、ブラジルに感染症研究拠点 中南米常駐は日本初」ブラジル拠点の設置について	西日本新聞	2024年1月19日	「長崎大、ブラジルに感染症研究拠点 中南米常駐は日本初」ブラジル拠点の設置について
安田二朗・教授	「長崎大 ブラジルに感染症の研究拠点を設置」ブラジル拠点の設置について	朝日新聞デジタル	2024年1月30日	「長崎大 ブラジルに感染症の研究拠点を設置」ブラジル拠点の設置について
安田二朗・教授	iLika: Instituto Keizo Asami da UFPE se une à Universidade de Nagasaki para enfrentar arboviroses e doenças emergentes	Jornal do Comercio (ブラジルの新聞社)	45369	iLika: Instituto Keizo Asami da UFPE se une à Universidade de Nagasaki para enfrentar arboviroses e doenças emergentes
安田二朗・教授	「コロナ感染抑制物質特定～長崎大など 薬開発に期待～」新型コロナウイルスに関する研究成果	長崎新聞	2024年7月4日	「コロナ感染抑制物質特定～長崎大など 薬開発に期待～」新型コロナウイルスに関する研究成果の紹介

安田二朗・教授	「「エムポックス（サル痘）」子どもの致死率5～10%以前は男性の同性愛者間で拡大も家族内・医療関係者の感染も報告」エムポックスの流行に関する解説	NBC	45529	「「エムポックス（サル痘）」子どもの致死率5～10%以前は男性の同性愛者間で拡大も家族内・医療関係者の感染も報告」エムポックスの流行に関する解説
安田二朗・教授	「《オロブーシェ熱》エムポックスに続き拡大懸念…ブラジルでは胎児・20代女性死亡 蚊が媒介「日本でも広がる可能性ある」」オロブーシェ熱の流行に関する解説	NBC Web news	2024年8月25日	「《オロブーシェ熱》エムポックスに続き拡大懸念…ブラジルでは胎児・20代女性死亡 蚊が媒介「日本でも広がる可能性ある」」オロブーシェ熱の流行に関する解説
安田二朗・教授	「オロブーシェ熱「日本で拡大も」」オロブーシェ熱の流行に関する解説	TBS THE TIME	2024年8月26日	「オロブーシェ熱「日本で拡大も」」オロブーシェ熱の流行に関する解説
安田二朗・教授	「BSL-4現状報告 稼働想定ワクチン開発」大阪公立大学と長崎大学の合同シンポジウムでの講演内容の紹介	長崎新聞	2024年11月26日	「BSL-4現状報告 稼働想定ワクチン開発」大阪公立大学と長崎大学の合同シンポジウムでの講演内容の紹介